

課題番号 4

基本方針：Ⅱ		課題名：特色あるキクの生産調整と新規生産者の確保による産地復活	
対象：JAならけん葛城花卉出荷組合		計画期間：R3～R5	
		事務所名：中部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R4年度末）	
①特色あるキクの生産割合の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・作付調査 ・成育巡回 ・実需者の協議 ・技術情報継承方法の検討 ・県電照補助事業の利用支援 ・検討会 ・県育成システムスギク現地試作10系統 	特色あるキクの出荷量 二輪ギク 8.6万本 → 2.1万本 ミスギク 3.6万本 → 1.3万本 マイクロマム 11.7万本 → 17.6万本 新規栽培者の研修体制の整備 なし → 6名 新規組合員の増加数 0名 → 0名	
②「キク産地づくりセミナー」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会 ・セミナー 		

総合評価（コメント）
<p>A：3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■単年度での実績を出す事は難しく思われるが、キク産地の維持に向けた取り組みを続けていただきたい。 ■難しい課題も多く短期間で実績に結びつかないかもしれないが、大切なテーマであるため、農業者や関係機関とも話し合いながら粘り強く活動を続けて、将来的に産地復活が達成されることを期待します ■葛城の二輪ギクを残す計画はとても重要だと思います。高収益品目になる事を期待します。 <p>B：3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■伝統的で奈良にとって大切な品目であるが、大変厳しい状況にあると考えられる。マーケティングや6次化、観光や福祉との連携の可能性など様々な角度から、今一度可能性を見出していただきたい。 ■高齢化による生産者の減少は進んでおり、新たな担い手を育成する普及活動は必要である。キクづくりで高収益を可能にできるよう支援を続けてほしい。

普及指導計画への反映状況等
<p>①特色あるキクの生産割合の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ■過去に行った取組や特色あるキクの出荷データ等を用いて、産地内の課題を分析し、再度、二輪ギク等の特色あるキクの在り方を産地内で協議。 ■二輪ギクとミスギクの品種や、生産に係る技術を継承していくための方法を関係機関と協議し、検討。 <p>②「キク産地づくりセミナー」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ■令和4年度のセミナー受講生の早期技術習得を目指した現場研修やフォローアップのためのセミナーを開催。 ■新たな担い手を確保するためのセミナーの継続開催について、生産者と関係機関に働きかけ、役割分担を明確にしながら新規生産者を確保する仕組みづくりについて検討。